



## Comunicado da Escola :: La información de la escuela :: School Newsletter

### 令和4年度の全国学力・学習状況調査の結果(国語・算数・理科)

すでに報道された通り、7月末に全国学力・学習状況調査の結果が発表されました。本校の取組結果について報告します。今年度は、国語・算数・理科の3教科について調査が行われ、算数ではプログラミング、理科ではデータ分析や身近なものを取り上げた設問などがありました。6年生の取組ではありますが、全校の傾向として他学年でも参考にしていただくとよいと思います。6年生には個人の調査状況を担任を通じてお知らせします。なお、今回の調査によりわかるのは、「学力」の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎないことを申し添えます。本校の平均正答率は、国語62ポイント・算数59ポイント・理科58ポイントで、全国平均・三重県平均に比べ、3ポイントから5ポイントの範囲で課題が見られました。問題別にみると、国や県より正答率の高かった問題(よかった内容:強み)と正答率の低かった問題(よくなかった内容:改善内容)が明らかになっています。強みを伸ばして改善すべき内容に力を入れていきたいと考えます。6年生の内容は、それまでの学年で、どれだけ定着したかで、大きく変わりますので、他学年も苦手な内容を計画的・継続的に取り組み、改善を図っていきます。



6年生では、弱みとなっている調査問題を再度子どもたちと確認し、改善をはかります。

【国語】:○登場人物の気持ちなどについて、書かれていることをもとにとらえることができている。

【国語】:▼話し言葉や書き言葉の違いを理解したり、言葉にはつながりをつくる働きがあることを捉えることが改善点です。

【総評】:登場人物の気持ちや人物像、全体像を具体的に想像するなどの文学的文章の読みは強みですが、互いの立場や考えを尊重した発言の仕方や異なる立場からの考えを聞き、自分の考えを広げたり、まとめたりするなど話し合う活動を通して自分の考えをわかりやすく伝えることが改善点です。

【算数】:○表の意味を理解し、全体と部分の関係に着目してある項目にあたる数を求めることができます。

【算数】:▼正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述することが改善点です。

【総評】:表の中の全体と部分の関係や図形を構成する要素に着目しある数や形を判断することができています。しかしながら、図形の意味や性質を基に図形の構成の仕方について考え記述で説明することや、図形の構成要素に着目して、図形の意味や性質、構成の仕方の理解が改善点です。

※参考のため、プログラミングの問題の導入部分を裏面に一部掲載しました。

4

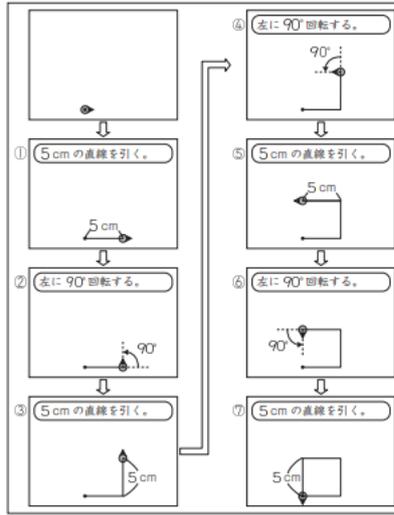
コンピュータは、いろいろな命令を順序よく組み合わせて動かすことができます。この命令の組み合わせを「プログラム」といいます。  
はなこさんたちは、プログラムをつくり、いろいろな図形をかこうとしています。

はなこ  
まず、正方形をかきましょう。正方形は、4つの角が直角で、4つの辺の長さが等しい四角形ですね。

1辺が5cmの正方形をかくために、正方形のプログラムをつくりました。このプログラムを実行すると、右のように、スタート位置（\*）から命令ごとに、 $\blacktriangleright$ が $\blacktriangleright$ の方向に進みながら直線を引いたり、矢印（ $\curvearrowright$ ）の向きに回転したりして、正方形をかくことができます。

正方形のプログラム

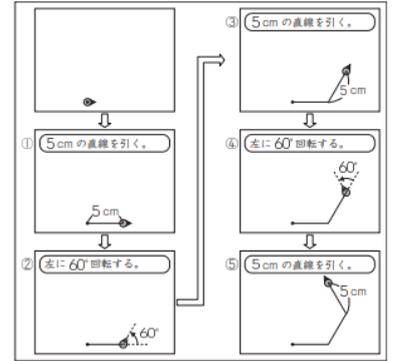
- ① 5cmの直線を引く。
- ② 左に90°回転する。
- ③ 5cmの直線を引く。
- ④ 左に90°回転する。
- ⑤ 5cmの直線を引く。
- ⑥ 左に90°回転する。
- ⑦ 5cmの直線を引く。



(1) はなこさんたちは、1辺が5cmの正三角形をかこうとしています。

はなこ  
正三角形は、3つの辺の長さが等しくて、3つの角の大きさがすべて60°の三角形ですね。

はなこさんは、正方形のプログラムをもとにして、正三角形をかくためのプログラムをつくり、実行しました。



【理科】：〇メスシリンダーという器具を理解できています。

【理科】：▼提示された情報を複数の視点で分析して解釈し自分の考えを持つことや、観察などで得た結果を、分析して解釈し自分の考えを持つことが改善点です。

【総評】：理科の器具の正しい使い方や名称などは理解できています。提示された情報や観察で得た結果を様々な視点で分析・解釈し、自分の考えを持つことや予想や実験結果を基に問題に対するまとめを検討、改善し、自分の考えを持つことが改善点です。

令和4年度の全国学力・学習状況調査の結果（児童質問紙）

〇児童質問紙は、基本的な生活習慣や学校生活などの質問で、今の小学生の生活の様子がうかがえます。本校の児童の特徴（県や全国の状況と比較したとき差異の大きな項目）としては、ゲームをする時間が長いこと（2時間以上が61.5%）があげられます。また、難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している子（67.4%）、地域や社会をよくするために何をすべきか考える子（44.6%）の割合が低い様子が見られます。

質問番号	質問事項										
(5)	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	26.5	15.7	19.3	16.9	16.9	4.8				0.0	0.0
三重県（公立）	18.5	14.6	20.1	26.0	15.1	5.8				0.0	0.0
全国（公立）	17.2	13.5	19.5	25.9	16.4	7.5				0.0	0.0

